東京歯科大学市川総合病院広報誌

yorisou

TAKE FREE

2016年6月発行
Vol.04
よりそう

特別記事

「地域医療支援病院」承認記念 特別座談会

市川市医師会 会長 吉岡 英征 氏 × 市川市歯科医師会 会長 長谷川 勝 氏 × 東京歯科大学 市川総合病院 病院長 西田 次郎

特 集

01 整形外科 積極的な治療で、がんとの闘いを支える。

か かぞくに yorisou 喫煙とからだ 吸う人も、吸わない人も知っておこう

ち ちいきに yorisou 介護予防と「地域包括ケアシステム」吉岡産婦人科医院／長谷川歯科医院

地域連携・医療福祉室より、こんにちは

information

看護の口にyorisou

「地域医療支援病院」承認記念 特別座談会

―急進する高齢化に立ち向かう市川市の医療の質を向上させるために―

当院は、千葉県知事より「地域医療支援病院」※に承認されました。地域医療支援病院は、地域の診療所などと緊密な連携を取りながら市民の健康を守るという大きな役割を担います。今回の承認にご尽力いただいた市川市医師会の吉岡会長、市川市歯科医師会の長谷川会長をお招きして、市川市のこれからの地域医療と市民の皆さまのかかわり方について、西田病院長と語り合っていただきました。

市川市歯科医師会 会長
長谷川 勝 氏

市川市医師会 会長
吉岡 英征 氏

東京歯科大学 市川総合病院 病院長
西田 次郎

全国でも稀な 医・歯・総合病院の連携

西田病院長（以下、病院長）：初めに、市川市の地域医療における医師会・歯科医師会と当院との関係について、現状をお話しいただけますか。

吉岡医師会会長（以下、医師会長）：私たち開業医は、背後に市川総合病院が控えているという意識を持っているので、できる限り最大限の医療を提供することができます。市川市においては医療サイドの連携システムは、ある程度完成していると思います。しかし、大病院志向をお持ちの方が少なからずいらっしゃいます。軽度の症状の方が病院に押しかけると、高度な医療を行うという病院の機能を低下させかねません。ですから市民の皆さんには具合が悪いと感じたらまず診てもらう「かかりつけ医」を持っていただく必要があります。診療所の医師が診て、守備範囲を超えていると判断されたときは直ちに市川総合病院に紹介するというシステムが確立されていますので市民の皆さんにはご理解いただきたいと思います。

長谷川歯科医師会会長（以下、歯科医師会長）：10年ほど前から病院と診療所との連携を意味する「病診連携」という言葉がしばしば聞かれます。市川市においては市川総合病院と医師会・歯科医師会が、患者さんを紹介し合うだけでなく真の意味の病診連携が構築されているように感じます。一例を挙げると、私が患者さんを市川総合病院の口腔外科に紹介すると、主治医となった先生と私とのあいだで診療情報を何度もやり取りします。手術後3年経っても、私から再度情報を提供し相互で患者さんの状態を把握しているということもあります。

病院長：お2人のお話から緊密な連携を再確認できて、心強く感じました。同じ医局の仲間であるかのように協力し合う体制ができているのだと思います。当院が歯科大学の付属ということもありますが、医科・歯科・総合病院という連携がきちんと築かれている地域は、国内にほとんどないでしょう。この類稀な医療連携を、市民の皆さんがメリットとして活用しない手はありませんね。そのためにも「かかりつけ医」を持っていただくことが重要です。

「かかりつけ医・歯科医」を持とう

医師会長：私の感触では「かかりつけ医」を持っている市民は6～7割程度です。「かかりつけ医」は、気軽に相談できるなら何科の医師でもよいと思います。私は婦人科ですが、婦人科だから他の病気は診ないというような意識はまったく持っていません。

病院長：知り合いに医師がいる場合、体調が心配なときは何科だろうと相談したりしますよね。その感覚でなんでも相談できるのが「かかりつけ医」だと思います。最近は、心臓病などの全身疾患と歯周病との関連も明らかになってきていますから「かかりつけ歯科医」を持つことも健康維持には欠かせませんね。

歯科医師会長：以前は、歯が痛いときに行くのが「かかりつけ歯科医」と思われていましたが、最近は口の中の健康を保つために定期的に歯を診てもらうのが「かかりつけ歯科医」だという、正しい意味が理解されるようになってきました。歯の定期検診から全身の病気が見つかることもあるので、この点からも「かかりつけ歯科医」を持つことの大切さを訴えていく必要があります。

病院長：市民の皆さんが「かかりつけ医・歯科医」を持つことによって、当院の病院機能がより効果的に発揮されていくと思います。それは市川市の医療の質が更に向上するということです。医科・歯科・総合病院という全国でも稀な医療連携ができている市川市の地域医療の成果は、高齢化社会において「市川モデル」として全国に広まっていくのではないかと期待しています。

Column

「市川総合病院在宅療養支援ネットワーク協議会」を設立

地域医療支援病院の承認を機に、当院では高齢者在宅医療の充実についても考えていきます。急速に進む高齢化を前に、医師・歯科医師と、在宅医療の従事者はより緊密な関係を持たなければなりません。

そこで6月より「市川総合病院在宅療養支援ネットワーク協議会」を設立します。医師会・歯科医師会の先生方、在宅医療や介護に携わる方々、行政の担当者、市民の代表者に参加していただき、市川市の医療から介護までの一体化した仕組みについてともに考えていきます。

※ 地域医療支援病院とは？

医療法で制度化されている医療機関のひとつ。かかりつけ医・歯科医から紹介された患者さんの診断・治療を行い、病状が安定したら再びかかりつけ医・歯科医など他の医療機関に診療を委ねるというように、医療機関の機能の役割分担と連携を目的として都道府県知事によって承認される。地域中核病院として、診療所などでは対応できない高度な治療や手術を行う他、地域の医療従事者への研修や医療機器の共同利用などを通じて地域の病院、診療所を後方支援する役割も担う。

01 整形外科

積極的な治療で、がんとの闘いを支える。

整形外科のおはなし

教授
穴澤 卯圭

整形外科の治療というと、骨折や関節リウマチ、ヘルニアなどが頭に浮かぶと思います。しかし、骨にできる腫瘍といった特殊な疾患をカバーするのも整形外科の重要な役割です。当科には、様々なジャンルの専門医が在籍し、あらゆる疾患に対応しています。その活動の一部を、ご紹介します。

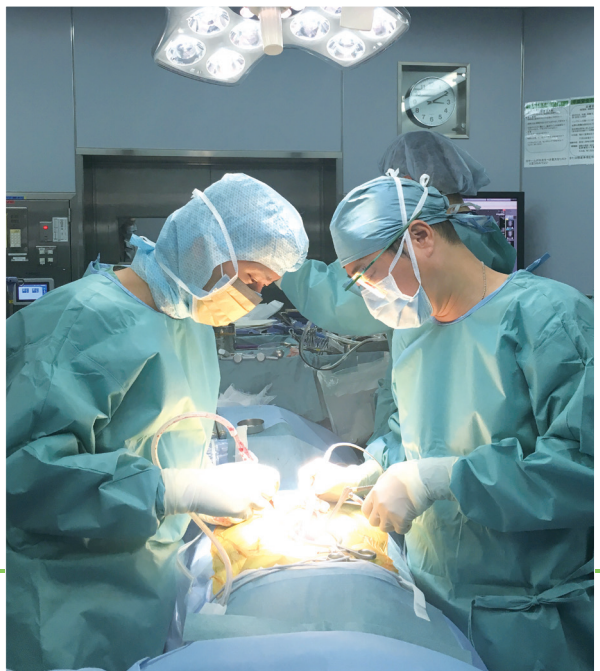
診断学に基づいた診療体制

皆さんは骨折や捻挫、打撲、関節痛などで最寄りの整形外科の診療所を受診したことがあると思います。通常はその診療所が完治するまで患者さんを治療しますが、より高度で専門的な治療が必要な患者さんは、当科を紹介されます。ここには脊椎・脊髄外科、人工関節外科、手の外科、骨・軟部腫瘍、小児整形外科、リウマチなどの専門医ならびに指導医が在籍しているので、あらゆる症状に対して様々な視点で検討し、診断をすることが可能です。

例えば、原因不明の長引く膝の痛みなどでは、腫瘍があるかどうか、リウマチの可能性はないかなど、様々な視点から専門医が意見を出し合い診断しています。

人工関節外科、骨・軟部腫瘍、脊椎・脊髄外科については、それぞれ、人工関節外来、骨・軟部腫瘍外来、脊椎・脊髄病センターを併設して集中的に対応しています。

診断が難しい症状に対しても、関節、腫瘍、脊椎など各分野の専門医が豊かな経験と知識をもとに話し合いを行い、正確な診断をして治療を始めます。診断がつかずに当科を紹介される患者さんはたくさんいらっしゃいますが、私たちから他の医療機関に診断を依頼する症例はありません。私たちは全員の知識と診断学に基づいて判断し、治療を進めていくことで、大学病院としての使命を果たしているのです。すべては、治るべき疾患を確実に治すための体制です。

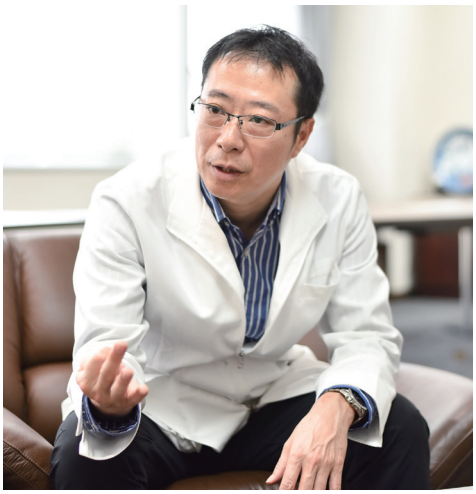


がん患者さんと、整形外科の関係

整形外科とがんは、一見つながりがないように思えますが、実は深い関係

があります。当科では、骨や筋肉などに腫瘍ができる「骨・軟部腫瘍」の診療に力を入れています。これは骨や筋肉などから発生する「原発性骨・軟部腫瘍」と、他の臓器のがんが骨に転移する「転移性骨・軟部腫瘍」に分けられます。とくに後者については、全身のがんと大いにかかわりがあるのです。

現在、日本では、ほぼ半数の人が、いずれかのがんを経験する時代になっています。そのようななか、新たな治療技術や新薬が開発され、がんと闘える時代になってきました。たとえ手術で完治できなくてもくすりで進行を遅らせたり、コントロールしたりしながら、言うなれば「ともに歩む病気」とも捉えられるようになってきました。



ところが、元々のがんをコントロールできていても、転移を生じることがあります。骨に転移すると、強い痛みをともなうようになります。そこで、当科の強みである骨・軟部腫瘍専門医の役割が注目されているのです。

がんの骨転移の痛みは、整形外科でカバーする

当科では骨転移の痛みを取り除くための手術や放射線治療などを積極的に行っています。脊椎転移となり痛みが強く、歩行や日常生活が困難になった患者さんが、当科にて手術を行った結果、日常生活を取り戻したケースも珍しくありません。そして、患者さんご自身の日常生活を取り戻すということは、介護や付き添いなどのご家族の負担も軽くなるということです。このような点でも、当科が行う積極的な治療には、大きな意味があると考えています。

また、転移性のまひが出るなど、緊急対応が必要な患者さんに対しては、24時間いつでも緊急手術を行う体制を整えています。腫瘍専門医と脊椎専門医が一緒に治療方針を立てて緊急対応に当たる体制は、県内では当院にしかありません。

このように、当科のスキルとノウハウを活かして、がんと闘う患者さんを支えてまいります。

整形外科 DATA

- 施設認定：
  日本整形外科学会研修施設、
  日本手の外科専門医認定研修施設
- 平均外来患者数：74名(日)
- 平均入院患者数：38名(日)
- 医師数：8名
- 主な対象疾患：脊椎・脊髄疾患：頚椎症性脊髄症、頚部脊柱管狭窄症、腰部脊柱管狭窄症、頚椎ヘルニア、腰椎ヘルニアなど　股関節・膝関節疾患：変形性股関節症、変形性膝関節症、関節リウマチ、関節炎、先天性股関節脱臼など　手の疾患：ばね指、関節リウマチ、腱損傷、末梢神経損傷、手の外傷など　骨・軟部腫瘍：骨肉腫、軟骨肉腫、悪性線維性組織球腫、脂肪肉腫、脂肪腫、血管腫、神経鞘腫、転移性骨腫瘍など　骨折など外傷：手術が必要な外傷　小児整形外科：先天性股関節脱臼など

喫煙とからだ

吸う人も、吸わない人も知っておこう

タバコパッケージの警告文の義務化、映画・テレビなどでの喫煙シーンの制限など、世のなかの禁煙化の流れはどんどん進んでいます。禁煙促進の理由は言うまでもなく、健康被害をなくすこと。今回は喫煙と健康についてご説明します。

タバコって何が悪いの？

タバコの大きな問題のひとつに、吸う（燃やす）ことで派生する煙があげられます。煙に含まれる一酸化炭素やタール、ニコチンをはじめとする様々な有害物質が、体内に取り込まれたり周囲にまき散らされたりするのです。最新の研究では、タバコの煙に含まれる発がん性物質は、60種類以上とも言われています。喫煙による健康リスクは、発がん性の他、呼吸器や循環器疾患、男女の不妊、早産や流産、歯周病、うつ病など、多岐にわたります。

ニコチン依存度 簡単チェック！

朝起きて何分後にタバコが吸いたくなりますか？

- ☑ 5分以内……最も強い依存症
- ☑ 30分以内……強い依存症
- ☑ 1時間以内……中程度の依存症
- ☑ 1時間以上……軽い依存症

30分以内は要注意！

家族や周囲の人のサポート

禁煙は本人だけでなく、家族や周囲の人にも大きなメリットをもたらします。禁煙に挑戦する人がいたら、みんなでサポートしましょう。

禁煙サポート例

- Challenge! 1 禁煙を少しでも続けられたら褒める
- Challenge! 2 灰皿やライターなどのタバコ道具を処分する
- Challenge! 3 口寂しさをカバーする飲食物を用意する
- Challenge! 4 禁煙初期のイライラは大目に見てあげる
- Challenge! 5 買い物や散歩などに連れ出して、気分転換を図る
- Challenge! 6 期間目標を決め、達成したらお祝いをする
- Challenge! 7 一緒に取り組むスタンスで、ときどき声かけをする

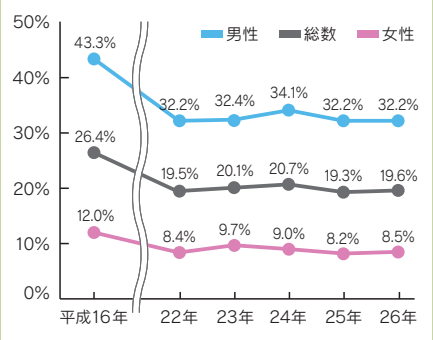
近年は禁煙にブレーキ?

（データは「平成26年　国民健康・栄養調査」結果より）

平成26年のデータでは、習慣的に喫煙している人の総数は19.6％で、男性は32.2％、女性は8.5％となっています。10年前のデータと比べると確実に減少していますが、ここ4年ほどは横ばいです。

しかし、下段のデータより、禁煙したいと思っている人の割合を見てみると、平成19年と比べてほとんど変化していません。喫煙総数に変化はあっても、禁煙したいと思っている人は、常に3割近くいるということです。禁煙促進の対策をより浸透させれば、喫煙者が減少しない傾向も打開できるのではないでしょうか。

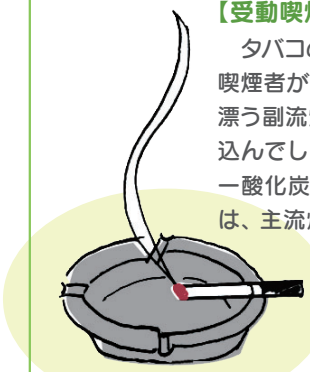
■習慣的に喫煙している人の割合の推移



■禁煙したい！と思っている人の割合

	平成19年	平成26年
総数	28.9%	29.2%
男性	26.0%	26.5%
女性	37.7%	38.2%

【受動喫煙のリスク】



タバコの煙は、喫煙者が吸い込む主流煙、喫煙者が吐き出す呼出煙、タバコ自体から漂う副流煙があり、呼出煙と副流煙を吸い込んでしまうことを受動喫煙と言います。一酸化炭素やニコチンなど多くの有害物質は、主流煙よりも副流煙に多く含まれています。非喫煙者の受動喫煙は深刻な社会問題であり、吸う人と吸わない人が一緒に考える課題とも言えます。

【愛煙家とニコチン】

ニコチンは肺から脳に達し、快楽を司る神経伝達物質を大量に分泌させます。タバコを吸うとリラックスする、心が落ち着くと感じるのはこのためです。しかし、しばらくすると、いわゆるニコチン切れ状態におちいります。タバコを手離せない要因も、禁煙失敗の原因も、ニコチンにあるのです。

さあ禁煙チャレンジ！

本人や周囲の人への健康リスクから「タバコはやめたい」と考える喫煙者は大勢います。そのなかには自力で禁煙に成功した人、逆に失敗したり踏み出せない人もたくさんいらっしゃることでしょう。禁煙は、「自力でムリなら助けを借りる」姿勢も大切です。

タバコは万病の元 みんなで禁煙促進を

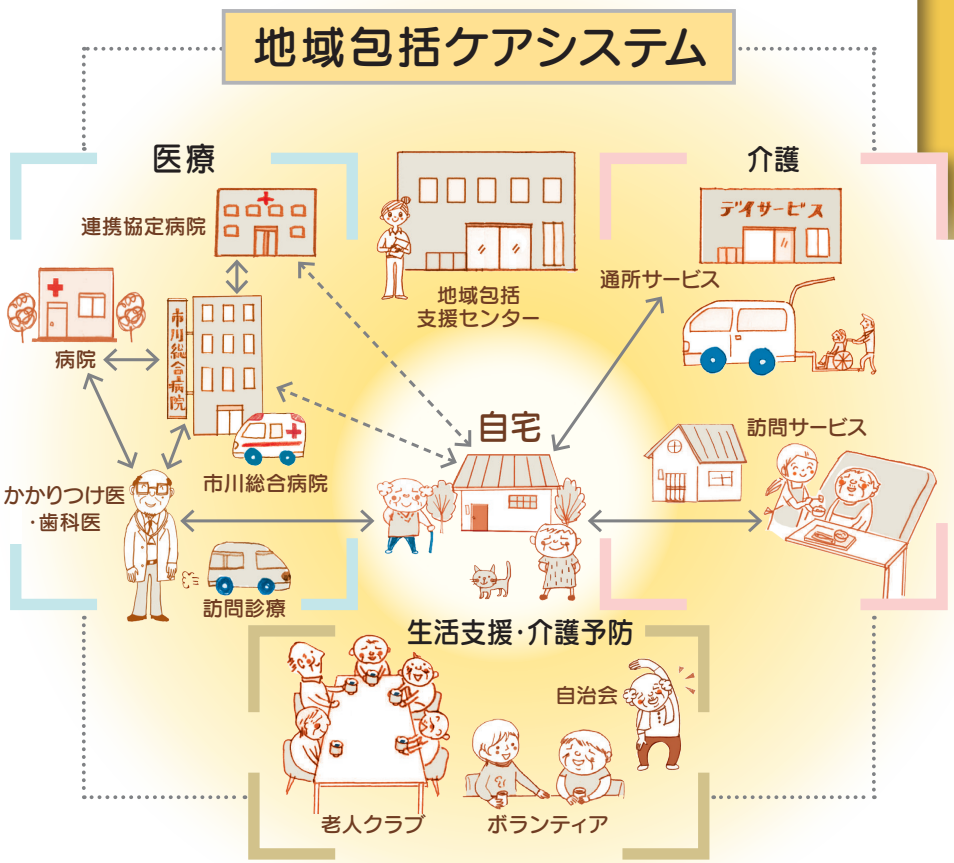
タバコは様々な健康被害をまねく要因のひとつです。医療機関として禁煙を促進することは、重要な社会的使命だと考えています。また健康増進法の施行も踏まえ、当院では敷地・施設内は全面禁煙とするなど、喫煙者の皆さんの禁煙を推進しています。

煙草の害のひとつにニコチン依存症があります。ニコチンは、快楽を司るホルモン（神経伝達物質）を異常分泌させる働きがあります。ホルモンの異常分泌は、内科としてのアプローチも重要と考えています。ひとりでも多くの方が禁煙に成功するよう、喫煙者やご家族、周囲の方々が健康でいられるよう願っています。

内科医師
仁科 牧子　監修

介護予防と「地域包括ケアシステム」

一人ひとりが、社会とつながるように



可能な限り自分の住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるように、生活圏内で地域のサービスが連携し、一丸となってケアしていこうという考えが「地域包括ケアシステム」です。これまで医療や介護など個人をサポートする様々な連携についてご紹介してきましたが、自分自身で健康を維持することも大切です。地域包括ケアシステムでも「生活支援・介護予防」という考えを打ち立ててそれを奨励しています。これは、老人クラブや自治会、ボランティアやNPOなどの地域活動に参加することで、日常生活をより有意義に過ごせるようにしようという考えです。地域活動に参加することでからだを動かす機会が多くなって健康を維持できる、また話し相手が増えて気分転換ができるなど、身体的・精神的健康をもたらします。また、地域の住人同士で見守りを行ったり日常生活の簡単なお手伝いを行ったりするなど、公的な介護サービスとは別に、生活支援を行うつながりもうまれる可能性があります。

このように、地域包括ケアシステムとは、地域にある社会資源を循環的に活用できるよう、自らが健康管理を行う「自助」、地域活動などの「互助」、介護保険による介護サービスなどの「共助」、高齢者福祉医療などの「公助」といった種々の援助を総合的に活用することを目的にした、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるための連携なのです。

※地域包括支援センターは市川市では高齢者サポートセンターという名称で、市内15カ所に設置されています。

■医療連携登録医在籍医院

産婦人科

医療法人社団

吉岡産婦人科医院

すべての女性の健康のために

当院は閑静な住宅街のなか、すべての患者さんにゆったり受診いただける環境を整えています。3D超音波検査器などの最新機器を完備し、一般婦人科検診や妊婦検診、結婚前のブライダルチェックなど、あらゆるライフサイクルにおける女性の健康と幸せを守ることができるよう、スタッフ一同、真心を込めて診療に当たっています。

女性特有の疾患である子宮頸がんは、早期発見がポイントです。しかし日本ではまだ多くの方が検診を受けていないようです。とくに20～30代の発症率が増加している疾患ですので、ひとりでも多くの方に検診を受けて安心を得ていただきたいと思います。また、女性医師による診察日も設定しています。

医療法人社団 吉岡産婦人科医院
http://yoshioka-womens.com

所 在 地 千葉県市川市八幡5-7-22
電　　話 047-334-4760
交　　通 京成本線「鬼越」より徒歩5分
／「京成八幡」より徒歩10分
JR中央・総武本線「本八幡」より徒歩10分
都営地下鉄新宿線「本八幡」より徒歩10分

■医療連携登録医在籍医院

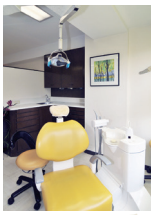
歯科

医療法人社団　萠歯会

長谷川歯科医院

口腔から、全身の健康を

歯科医院は、虫歯や歯の悪い部分を治療するだけでなく、食べ物を噛んだり飲み込んだりする「食べること」の問題点も解決しています。当院もそんな医院のひとつ。歯の健康から全身の健康を築きあげる「包括的歯科治療」を重視して、チーム体制で患者さん中心の歯科治療を行っています。虫歯や歯周病、インプラントや矯正など、地域密着の歯科医院として求められる技術を磨きながら、とくに「口腔がん」に関しては医師も衛生士も積極的に学会や勉強会に参加し、最新知識を得たうえで診療に当たっています。すべては患者さんが望む医療、患者さんのQOL（生活の質）の向上のために。私たちは努力を惜しみません。



医療法人社団 萠歯会 長谷川歯科医院
http://www.moeshikai.com

所 在 地 千葉県市川市行徳駅前4-1-6
電　　話 047-395-3326
交　　通 東京メトロ東西線「行徳」より徒歩3分

地域連携・医療福祉室より、こんにちは

当院では、地域のかかりつけ医・かかりつけ歯科医などの医療機関からご紹介いただき、急性期の治療を行っています。当院での治療が終了して退院される方には、専任の「退院調整看護師」や「ソーシャルワーカー」がその後の療養生活や地域医療機関への受診調整などのサポートを行います。退院後のご希望（ご自宅または転院など）や、ご家族の状況などご本人を取り巻く環境を把握したうえで最善の環境を一緒に考えていきます。

入院、通院となるとご本人はもちろん、ご家族も戸惑いを感じられることと思います。入院生活や治療費、福祉制度など療養生活における不安を抱えていらっしゃるすべての皆さんに、解決へのお手伝いをするのが私たちの仕事です。プライバシーに配慮した個室で、お一人おひとりの不安な気持ちによりそいながらじっくりお話を伺います。

住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるように「地域包括ケアシステム」の構築に取り組み、皆さんの生活を支えていく存在でありたいと思っています。

そんな私たちから、
退院支援の流れをご紹介します！

STEP 1 入院時の情報収集

患者さんの環境（お住まいやご家族の状況）をはじめ、治療やその後の生活についてのご希望を伺います。

STEP 2 退院に向けたサポート

患者さんの状態を継続的に把握して、客観的な判断を踏まえながら、わかりやすく現状をお伝えします。退院後の生活に不安がある場合は、それらをひとつひとつ解決していき、具体的な生活をイメージできるようお手伝いします。

STEP 3 地域のサポートを調整

退院後も必要な医療や介護を継続して受けることができ、地域で安心した生活を送ることができるよう、在宅医療やヘルパーなど、生活環境を整えるお手伝いをします。

退院後の生活へのお悩み、お気軽にご相談ください！

information

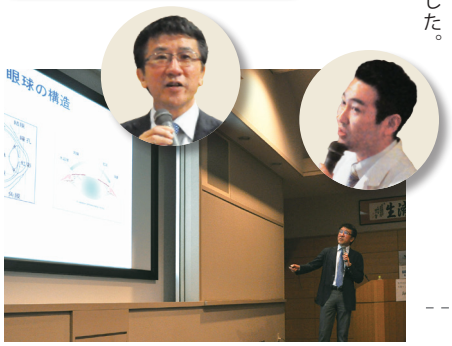
病院機能評価の更新認定を受けました

当院は、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（主たる機能：一般病院2〈急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的な病院〉3rdG：Ver.1.1）の更新認定を受けました。平成13年4月に初めて日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成していることが認められ、今回の更新で認定4回目となります。このように、病院の機能を専門的・学術的に中立な第三者機関に継続的に評価してもらうことで医療の質の改善や向上が図られ、患者さんや地域住民の皆さんのメリットにつながると考えています。これからも、良質で安全な医療を提供し、地域の皆さんに親しまれ、信頼される病院となるよう努めてまいります。

認定証
Certificate of Accreditation
認定第G2230-4号
Accreditation Number
主たる機能：一般病院2
Hospital Type 2
（対応する一次機能評価機構は「機能」ではなく「機能種別」です。）
機能種別評価項目Ver.1.1
病院名
Hospital name
東京歯科大学市川総合病院
Tokyo Dental College Ichikawa General Hospital
殿
貴病院が日本医療機能評価機構の定める
認定基準を達成していることを証する
This is to certify that the above hospital has demonstrated satisfactory compliance with the applicable JCQHC accreditation standards.
認定期間：2016年4月16日～2021年4月15日
交付日：2016年4月15日
期間認定：2001年4月16日
☆☆☆☆
（認定4回目）
公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care
代表理事 理事長 井原 哲夫
Chairman of the Board Tetsuo Ihara

「市病から始めよう！昼ドキッ☆健康講座」を開催しました

去る5月28日、2F講堂にて「昼ドキッ☆健康講座」が開催されました。当院眼科医師とコーディネーターが、角膜移植すなわち患者さんに光を届ける医療の役割について、やさしくわかりやすく解説しました。角膜移植に関するビデオ上映会もあり、多くの皆さんにその重要性が伝わる機会となりました。



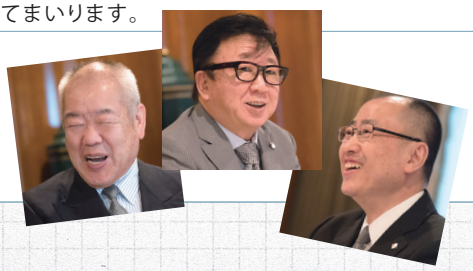
自動販売機の位置が変わりました

院内の自動販売機の位置が変更になりました。1Fエスカレーター付近、検査室前、2Fエスカレーター付近など、いままで以上に利便性のよい場所に設置されました。ぜひご活用ください。

オモテのひと

市川市医師会 会長 吉岡 英征 氏／市川市歯科医師会 会長 長谷川 勝 氏
東京歯科大学 市川総合病院 病院長 西田 次郎

今回の「yorisou」はいかがでしたでしょうか。「地域医療支援病院」の承認を受けたことで、いままで以上に大学病院としての機能を発揮して、皆さまの健康増進のお役に立てるよう努力してまいります。座談会にご協力くださった市川市医師会長の吉岡先生、市川市歯科医師会長の長谷川先生に改めて感謝申し上げますとともに、地域医療を支える先生方と一緒になって全方位的に患者さんをフォローできる体制づくりを目指してまいります。



看護の日に
yorisou

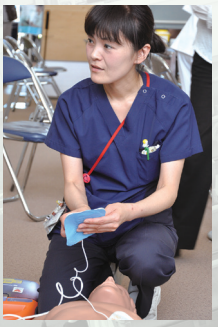
毎年5月12日！

看(み)つめあい ふれあう心で まもる生命(いのち)

「看護の日」は、医療現場において患者さんと接することの多い看護師への理解を深めていただこうと、ナイチンゲールの誕生日にちなんで制定された記念日です。当院でも毎年様々なイベントを行っており、いつも多くの皆さんに楽しんでいただいています。

そんな「看護の日」のイベントをご紹介します。

一次救命処置AED講習



健康チェックコーナー

救命処置の体験や健康チェックをはじめ、衣装展示や健康まめ知識ポスターなど盛りだくさんの内容に、多くの皆さんが興味を示してくださいました。来年のイベントもご期待ください！

ウラのひと

栄養管理室（管理栄養士）
主任栄養士
堀内 由布子

食は命の源

管理栄養士は入院している患者さんの栄養状態の回復・維持・向上を目的として、栄養・食事管理や栄養教育の支援に取り組んでいます。

また、栄養サポートチーム（NST）や摂食・嚥下チームをはじめとする院内の様々なチーム医療活動に専門性を活かして参加しています。

入院中も退院後も日常生活でも「食べること」は、気力・体力の向上につながります。

「目配り・気配り・心配り」を大切に、これからも「食」を通して皆さんの健康管理の一助となるように努めてまいります。

アクセスのご案内

JR総武線「市川駅」から、北口2番停留所より京成バス「市川学園」行乗車、「市川総合病院」下車
JR総武線「本八幡駅」から、北口1番停留所より京成バス「市川駅」行乗車、「市川総合病院」下車
京成電鉄「市川真間駅」から、「市川真間駅」停留所より「市川学園」行乗車、「市川総合病院」下車

※JR総武線「市川駅」からタクシーで約10分。700円～1000円程度。
※病院駐車場の台数には限りがあり、入場までに1時間程度要する場合もございますので、ご来院の際はなるべく公共交通機関をご利用願います。

市川総合病院
〒272-8513 千葉県市川市菅野5-11-13
TEL 047-322-0151（代表）
http://www.tdc.ac.jp/hospital/igh/index.html